

(様式第2号)

## 配偶者等からの暴力の被害者の保護に関する証明書

避難先住所	堺市		
(フリガナ)			
氏名(※1)			
生年月日	年	月	日生
(フリガナ)			
同伴者氏名(※2)			男・女
生年月日	年	月	日生
(フリガナ)			
同伴者氏名(※2)			男・女
生年月日	年	月	日生
(フリガナ)			
同伴者氏名(※2)			男・女
生年月日	年	月	日生
(フリガナ)			
同伴者氏名(※2)			男・女
生年月日	年	月	日生
婦人相談所以外の配偶者暴力相談支援センター(※3) 機関及び代表者氏名(※4)			
所在地、電話番号			
婦人相談員(※5) 所属機関名及び所属長名			
所在地、電話番号			
受付日 年 月 日			

上記の者について、配偶者からの暴力を理由として保護したことを証明する。

なお、本証書の用途は、被害者及びその同伴者が、避難先である堺市内で定期予防接種を受けるための申請に使用する場合に限る。

年 月 日

婦人相談所の名称(※6) \_\_\_\_\_

代表者氏名 \_\_\_\_\_

所在地、電話番号 \_\_\_\_\_

(裏面)

※1 配偶者等からの暴力を理由として保護した者の氏名を記入すること。

「保護した者」とは、「婦人相談所もしくは婦人相談所以外の配偶者暴力相談支援センターにおいて、または、婦人相談員が来所相談を受けた者」を含む。

※2 配偶者等からの暴力を理由として保護した者に子どもなどの同伴者がいる場合には、その者の氏名を記入すること。

※3 婦人相談所以外の配偶者暴力相談支援センターが相談を受け付けた場合のみ記入すること。  
なお、同支援センターが証明書を発行する場合は空欄で可。

※4 代表者氏名については、記載することが適当でない場合は省略すること。

※5 配偶者暴力相談支援センターに指定されていない機関において、婦人相談員が相談を受け付けた場合に所属長が記入すること。

※6 配偶者暴力相談支援センターが証明書を発行する場合は、配偶者暴力相談支援センターの名称等を記入すること。

(その他)

1 証明書の太枠内は原則被害者の保護等を行った機関等が記入すること。

2 この証明書は、配偶者等からの暴力を理由として保護した者に対して婦人相談所等が発行するものであり、配偶者等からの暴力を理由として保護したことを証明するものであって、配偶者等からの暴力があった事実を証明するものではない。避難先である堺市内で定期予防接種を受けるための申請を行う際に証明書を添付することになる。

3 この証明書を取扱う堺市の担当においては、証明書に記載されている相談機関等や証明書を発行した婦人相談所の名称等について、配偶者（配偶者であった者及び配偶者から依頼を受けた第三者を含む。）に知らせないなど、取り扱いについては十分配慮されたい。